

令和6年度学校経営方針

建屋小学校コミュニティ・スクール経営プラン

養父市立建屋小学校

1 学校経営の基本理念

【自立・協働・創造】

今後の教育には、社会情勢の激しい変化が続く中、想定外の事象と向き合い対応する力や不透明な未来を切り拓く力をどう涵養していくかという視点とともに、ウェルビーイングの向上や持続可能な社会の実現という視点が重要である。そのためにも、自ら「在りたい自分」や「在りたい社会」を描き、自己のみではなく主体的に他者と協力・協働しながらその実現に向けた課題を発見・解決し、新たな価値を「創造」していく力を育むことが求められている。（令和6年度「指導の重点」より）

兵庫県は今春、第4期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育振興基本計画）」を策定し、今後5年間の基本理念および重点テーマを以下の通り設定した。

基本理念 兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり

重点テーマ 「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成

小規模特認校7年目、コミュニティ・スクール6年目を迎える本校にとって、「『絆』を深める」とは多様な他者と関わり合い、協働すること（多様性の尊重、多文化共生）であり、「地域とともにある魅力ある学校づくり」を旗印に、学校・家庭・地域・関係機関の4者協働による学校運営（コミュニティ・スクール）を推進していくことである。

また、「『在りたい未来』を創造する」とは、本校教育の要である「グローバル教育」を通して、「志を高く持ち、主体的に考え・判断しながら、社会（地域コミュニティ）と関わり、豊かな未来創りに挑み続ける人材、地域の未来を支える人材を育成」することである。

※グローバル教育とは

グローバル教育（英語教育を通して多文化理解を進める）と

ローカル教育（演劇を通して地域文化への愛情を深める）を合わせた造語

2 コミュニティ・スクール「教育目標」

「ふるさととつながり、仲間とともに「在りたい未来」を創造する建屋っ子の育成」

郷土である建屋小校区、そして養父市を愛し、ふるさとでの学びをもとに主体的な判断と行動、協働性を発揮しながら、前向きに生きていくことのできる力を育む。

3 重点目標

「つながりの中で学びの主人公を育てる」

～志を高め、挑み、振り返り、成長し続ける子どもの育成～

「横」のつながり

- ・地域コーディネーターを核にしたコミュニティ・スクールの充実。
※統合20周年記念行事
例：運動会、たきのやフェスティバル、ピッコロ劇団お出かけステージ
※人材バンク（たきのやっ子応援団）の拡充と積極的な活用
- ・小小連携、地域協働活動等を通して、地域社会とのつながりを深める。
- ・特認制度利用児童が居住する地域の学校や民生委員児童員とも連携を密にし、見守りや児童理解の体制を堅固にする。
※要対協（随時）、民生委員児童委員との懇談会（夏季休業中）
- ・関係機関や企業、大学等から講師を招聘し、講演会や研修会を開催するなど、教職員の資質向上を図る。
- ・こどもサポート室やSC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）、学校生活支援教員（通級指導担当）、学校問題サポートチーム（但馬教育事務所）による専門的な指導と行内研修の充実を図る。

「縦」のつながり

- ・三谷こども園、市内こども園との交流
就学支援についての説明会（4月）、オープンスクール（年3回）、5歳児体験入学（2月）
- ・養父中校区の3小学校と中学校が「めざす生徒像」を共有し、小中一貫教育を推進するとともに、「子どもを守り育てる」仕組みを堅固にする。
※6年生中学校登校（年3回）、小中一貫教育部会・合同研修の充実（年2回）
養父校区公開授業（秋）
- ・キャリアノートやキャリアパスポートを活用しながら、義務教育9年間を貫く、義務教育終了後につなげるキャリア教育を推進する。
※ふるさとキャリア学習会（年2回）・ゲストティーチャーによる講話
- ・一人一人の子どもや保護者の願いを踏まえながら、きめ細かな指導、個に応じた指導を推進するとともに、特別な配慮を要する子どもに対しては、就学前から小学校へ、小学校から中学校・高等学校等へと支援をつなぎ、子どもの自立と社会参画を促す。

（1）めざす子ども像（地域の未来に貢献できる子）

- 学ぶことの大切さ、楽しさを知り、自ら学ぶ子（知）
- 自分の思いを伝え、人の思いに耳を傾け、よりよく生きようとする子（徳）
- 自分の心と身体を知り、健全に生きようとする子（体）

《具体的な子どもの姿》

<自尊感情・謙虚・勤勉さ・優しさ>

自信が持てる子 自分が好きな子 自分の思いを話せる子 人の良いところを認めら

れる子

まじめな子 ありがとうが言える子

<向上心・健康>

勉強を楽しんでできる子 好奇心旺盛な子 続けられる子

<学校愛・地域愛・コミュニケーション>

あいさつができる子 大人の人と話ができる子 建屋が好きな子 学校が好きな子

(2) めざす学校像(児童・教職員・保護者・地域がつながる学校)

子どもの夢と志の実現を支える学校

あいさつと歌声の響く活力ある学校

一人一人が大切にされ、安全・安心な学校

保護者や地域と共に歩む信頼される学校

(3) めざす教師像(地域の担い手と地域を育てる教師)

○使命感、教育愛に満ち、児童の良さや可能性をのばす教職員

○人権感覚に優れ、子どもとともに学ぶ教職員

○自らの資質能力と実践的指導力の向上を図り、児童・保護者・地域から信頼される教職員

(4) 期待する家庭像(地域の方とともに地域の担い手を育てる家庭)

○親子で目標を決め、目標に向かって努力する家庭

○家族同士で「あいさつ」を交わし合う家庭

○基本的な生活習慣を身につける家庭

○学校や地域の行事に進んで参加・参画する家庭

(5) 期待する地域像(児童と学校とつながる地域)

○学校の重点目標を共有し、共に進める地域

○子どもの安全・成長を見守る地域

○地域行事に子どもたちが参加・参画する地域

○学校教育・家庭教育を支える地域

○学び続ける大人がいる地域

3 本校の教育課題・経営課題

(1) 教育課題

○学習規律の継続的な指導を通して「主体的・対話的で深い学び」を実現する。

※学級開き、学期はじめの学習規律づくり

※校内研修、OJT、講師招聘による教職員研修

○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を図る。

○単学級の良さと複式の良さを生かした効果的な教科指導を研究する。

※兵庫型学習システム推進員(教科担任制)の効果的運用

※体育、図工等における合同授業

○家庭と連携し、「そうあんくんの日(第2・第4水曜日)」の充実を図る。

○様々な運動に取り組める環境整備や体育事業の充実を図る。

「たきのやっ子応援団」による学習・環境サポート

(2) 経営課題

- 「『生きる力』を生涯学ぶまち 養父市が育むところ豊かで自立する人づくり」の推進
- 学力向上に向けた授業改善GIGAスクール構想の推進教職員の指導力向上
※タブレット端末、デジタル教科書（英語等）の日常的活用
- 小規模特認校制度の充実「選ばれる魅力ある学校づくり」
- 学校・家庭・地域・関係機関の4者協働
- 学校が就学前幼児や地域の方の学びの場となる活動の推進
※コミスク2.0：交流の拠点、学びの拠点としての学校
- 働きがいのある職場、教育環境づくり

4 コミュニティ・スクール協働活動

～めざす子ども像に向けて、学校・家庭・地域が果たす役割、連携して取り組む主要内容～

○「学ぶことの大切さ、楽しさを知り、自ら学ぶ子」を育てる

<学校>

- ・「学びに向かう力」（自ら学ぶ態度）の育成
英語学習を通じた表現力、コミュニケーション能力等非認知スキルの育成
建屋スタンダードの継続・発展
他教科における「Networkingタイム」の実践⇒「伝え合う力」の育成
- ・「令和の日本型教育」の実践
「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実践
○子ども一人一人のニーズに応じた学び（個別最適な学び）
※「わかる授業」「魅力ある授業」：喜びや達成感が感じられる授業
※「つまずき」への早期対応、きめ細かな個に応じた指導
※小規模校の課題 ⇒ 協働的な学びの創造
「学びの見通しをもつ」（個別）⇒「考えを広げ深める」（協働）⇒「学びを振り返り、次につなげる」（個別）⇒学習を家庭や地域とつなげる（発展）
- ・「がんばりタイム」（放課後）、ETタイムでの「個別最適な学び」
- ・YABUスクールチャレンジ（講師招聘による造形指導）
- ・ICT活用による情報活用能力の育成「一人一台端末の日常的活用」
学習のツール、コミュニケーションツールとしての活用
家庭学習の充実、特別支援教育の充実につなげる
- ・9年間の連続した学び：「小中一貫教育」の推進
※中一ギャップの解消に向けた取組の充実（6年生中学校登校）
※校区全職員による共通教育実践（R6重点）
①「習得・活用・探究」を促すノートやタブレット等の活用とその指導の在り方
②確かな学力のさらなる定着に向けた発達段階に応じた家庭学習の工夫

<家庭>

- ・家庭学習の確立
- ・自ら学ぶ態度：「そうあんくんの日」「スーパーそうあんくんの日」（年3回）

読書活動の充実 ～言語力や読解力を高める読書指導～

<地域>

- ・ 学習支援ボランティア「たきのやっ子応援団」
「たきのやっ子教室」（放課後子ども教室）の充実
- ・ 地域との協働による「ふるさとキャリア学習」

○ 「自分の思いを伝え、人の思いに耳を傾け、よりよく生きようとする子」を育てる

<学校>

- ・ 「慎独」等、池田草庵の言葉を今につなげた生徒指導
「月間目標」に基づく実践 4月「筆硯整齊」
- ・ 演劇活動で培った表現力を生かした活動
- ・ いじめの早期発見早期対応、情報モラル教育、人権週間・人権集会
全職員での共通理解（職員会議等での情報交換）
いじめアンケート、生活アンケート、i-check等を活用した児童理解

<家庭>

- ・ 地域・家庭生活での道徳実践力の育成
- ・ 地域行事への参加
※地区行事、クリーン作戦、養父市一斉避難訓練等への親子参加
- ・ 「養父市こどもSNSルール」等をもとにした情報モラル指導
※PTA学年懇談会、PTA研修、地区別懇談会での啓発
※系統的・継続的な指導、家庭との連携による情報リテラシーの育成

<地域>

- ・ 地域行事への子どもたちの参加の推進
- ・ 図書ボランティア、読書ボランティア
お話広場、チャレンジ読書、おすすめ図書〇冊

○ 「自分の心と身体を知り、健全に生きようとする子」を育てる

<学校>

年間を通した体力アップの取組(チャレンジ100、運動遊び)
運動能力テストの結果分析に基づく体力向上の取組
夏休みラジオ体操や遊びを通した健康・体力づくり
「山の学校」や自然学校等のプログラム検討
幼児期と児童期の滑らかな接続:こども園5歳児との合同運動遊び(市教委主催)
レッツすたあと運動(生活指導)

<家庭>

- ・ 養父市「親子ではぐくむ『5つの生活習慣』」「養父市こどもSNSルール」
- ・ スポーツ教室への積極的な参加
※陸上競技大会、駅伝大会、やぶっこふれあいスポーツフェスティバル、スキー教室等

<地域>

- ・ 登校時の見守りと声掛け、安全パトロール、校区安全点検